

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス安岡教室			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数)	13人
○従業者評価実施期間	R7年 11月 1日 ~ R7年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 10日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所は「やすらガーデン」に隣接しており、四季折々の植物や花に触れられる環境が整っています。図書館が徒歩圏内にあり、自然だけでなく知的好奇心を育てる環境も整っています。子どもたちが五感を使って学び、心身ともにリフレッシュできる立地が大きな強みです。	芝生広場やガーデンヒルなど、広々とした屋外スペースが近く、散歩や外遊び、自然観察の時間を多く取り入れ、気分転換と、情緒の安定にもつなげています。	地域の方々との日常的な交流を大切にし、自然・文化・人ととのつながりを活かした学びの機会をさらに広げていきます。
2	・固定化しない多様なプログラム ・専門スタッフ（心理師）が在籍していることで、子ども一人ひとりの成長に寄り添い、発達段階に合わせた丁寧なサポートを行うことができます。	子どもが楽しみながら継続できるよう、興味に合わせたゲームや遊び、運動を組み合わせたトレーニングを行っています。自然と意欲が高まり、無理なくスキル習得につながるよう工夫しています。	子ども面談を通して個々の目標を確認しながら、楽しさやワクワクする要素を取り入れたトレーニングを実施していきます。目的を持って取り組めるよう工夫しつつ、自然と意欲が高まる活動に取り組みます。
3	一の宮・長府・安岡の3教室が連携し、勉強会や情報共有を通して支援方法を磨いています。スタッフ全体で学び合うことで、より質の高い支援を提供できる体制づくりを進めています。	スタッフ同士の“強み”を活かす連携得意分野（SST、環境調整、行動分析、教材づくりなど）を明確にし、相談しやすい体制にしていきます。他教室のスタッフが授業を見学し、視点を交換し、ロールプレイ形式で支援スキルを磨いていきます。	各教室の強みを共有し、教材やプログラムを相互に活用する。 実際の支援場面を共有し、成功例・課題を一緒に検討する機会を増やす。 スタッフの得意分野を活かした研修を持ち回りで行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPなどで事業所内の活動報告ができていない	HP掲載にかける時間を確保できていない。	月1回の「ハッピー通信」をアップし、必ず更新する習慣をつくります。
2	児童クラブや地域のほかの子供との活動が少ない	他事業所や地域ボランティアとの交流にも取り組んでいますが、子どもたち一人ひとりの特性に合わせ、無理のない小規模な関わりを大切にしています。	児童クラブや地域団体と年間を通して交流できるスケジュールを作成し、継続的な関わりを持てるようにします。 季節行事（夏祭り、運動遊び、工作イベントなど）を共同開催し、無理のない形で交流の幅を広げていけるよう工夫を続けていきます。
3	ペアレントトレーニングの開催ができていない	スタッフの業務量や日程調整の難しさ、保護者の参加しづらさなどが重なり、現状ではペアレントトレーニングの開催に至っていません。	開催日時の選択肢を増やし、平日・土曜など複数の時間帯で実施できるよう調整します。 オンライン参加や資料配布など、家庭の状況に合わせた参加方法を検討します。